

平成30年度 第3回

福山大学 教養講座

「まちづくりと妖怪・YOKAI」

9月21日(金) 10:30~11:50

《 大学会館ホール 》

奥田元宋・小由女美術館館長

講師 植田 千佳穂 先生

三次市は、地元を特色付ける文化のひとつとして、妖怪に着目している。「稲生物怪録」は、江戸時代の備後国三好(現在の広島県三次市三次町)が舞台となっている物語で、物語に登場する妖怪からもらった槌(つち)や主人公は実在し、多くの研究者、妖怪ファンらから広く注目を集めている。

三次市は、妖怪を町おこしに欠かすことができないコンテンツとして、独自の取組みを目指そうとしている。

現在、三次市は「日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)」の建設準備を進めており、川崎市民ミュージアムに長く携わってきた妖怪研究者・湯本氏の熱い思いと、日本一とも言われる妖怪個人コレクションの寄贈を受けて地域の方々の理解を得ながら、日本初の妖怪博物館を目指している。

本講座を通して、三次市のユニークな町おこしの方法を学ぶとともに、学生が地元の新たな魅力を知るきっかけになればと考える。



【一般の方へ】 聴講を希望される方は公共交通機関をご利用のうえ直接会場にお越しください。